

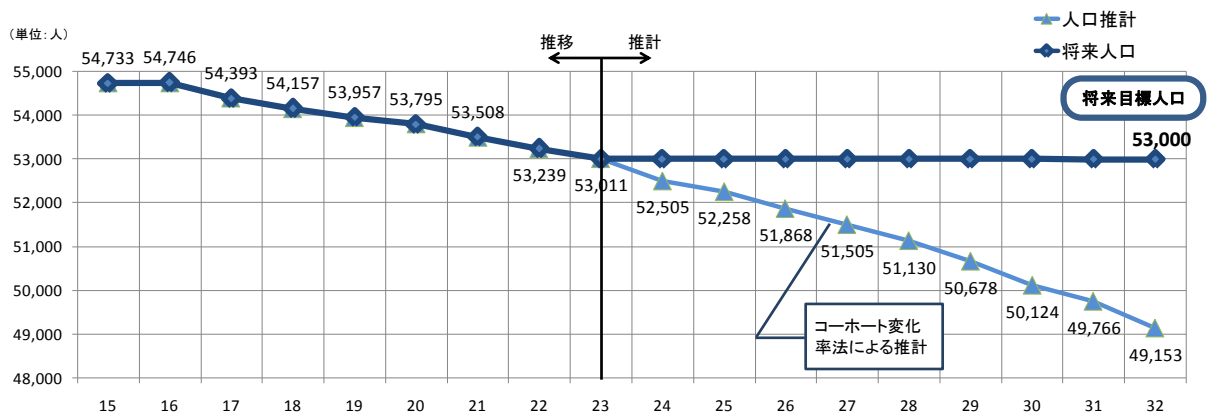
目標人口の算出内訳

【抜粋】

5 将来人口

須坂市の人口は、今まで行ってきた施策をそのまま取り組み続けても、他の市町村と同じく減少が続き、今後10年間で約4,000人減少すると予測されます。そうならないために、産業団地などへの積極的な企業誘致、宅地造成や有効な土地利用などによる住環境の整備を行う必要があります。そのためにはまず、行政のみならず市民のみなさんとの共創と、国や県との連携による土地利用の見直しが大前提となります。さらに、子育て支援、働きざかり世代の健康づくりなどの事業を積極的に行うことで人口減少をくい止め、この基本構想の目標年次平成32年度の須坂市の将来目標人口を、平成23年度の人口を維持する5万3,000人（外国人登録人口を含む）とします。

【須坂市の人口推計と将来人口】



※「住民基本台帳人口」及び「外国人登録人口」を用い、「コーホート変化率法」という計算方法で推計

平成23年度から平成32年度までに、全人口に占める高齢人口の割合は4.0%増(2,118人増)、生産年齢人口は3.7%減(1,960人減)、年少人口は0.3%減(169人減)と推計され、全体人口が減少する中で高齢人口の占める割合が増加傾向となることが予想されます。

平成23年度から平成32年度それぞれの区分の人数の増減幅をみると、高齢人口の増加幅は15.2%(h23:13,908人→h32:16,026人)、生産年齢人口の減少幅は6.1%(h23:31,740人→h32:29,780人)、年少人口の減少幅は2.3%(h23:7,363人→h32:7,194人)であり、中でも生産年齢人口の減少幅が大きくなると予想されます。

須坂市の今後は高齢人口の割合が増えていくことが推計で出ていますが、高齢人

口世代の皆さんが活躍できる環境をつくっていくことが、これからの須坂市のまちづくりには欠かせないテーマのひとつです。

【須坂市の人口推移と人口区分の割合】

